

ピンクのペチュニア

今年も豊臣ひろばの花壇にペチュニアが登場しました。日本には江戸時代終り頃にやってきて、和名はツクバナアサガオというのだそうです。当時は湿気や寒さに弱く、日本での栽培には適しませんでした。1980年代に、



日本の気候でも育てやすく花つきもよい品種が日本で開発され大ヒットし、世界中で販売されました。当時は「ヨーロッパの窓辺を変えた」とまで称されたのだそうです。今はよく見かけるポピュラーな花ですが、背景にこうした物語があったのですね。